

令和元年度調布市子ども発達センター 地域支援に関するアンケート結果報告（要約版）

目的：市内の幼稚園，保育園にアンケート調査を行い，子ども発達センターが地域で果たすべき役割や，地域支援の課題の抽出を行う。

対象：市内の幼稚園，認可保育園，認証保育所

配布方法：園長会または施設長会等にて，アンケート用紙を配布する。

回収方法：交換便又はFAXでご回答いただく。メールでの回答を希望する園にはデータを送信し，メールでご回答いただく。

実施期間：令和元年5月15日（水）から6月21日（金）まで

配布数：96

回収数：53（回収率55%）

公立保育園8，公設民営保育園1，私立保育園29，小規模保育園1，
認証保育所3，幼稚園9，園名無記入2

1 事業所概要（-は無回答）

(1) 公立保育園

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子の人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
公1	0	0	1	1	1	1	4	8	有	1	5
公2	0	0	0	1	2	1	4	3	有	1	3
公3	0	0	0	0	1	2	3	10	有	1	3
公4	0	0	0	1	2	1	4	17	有	1	3
公5	0	0	0	1	0	2	3	-	有	1	2
公6	-	-	-	1	-	1	2	10	有	1	2
公7	-	-	-	-	1	2	3	14~15	有	1	2
公8	0	0	0	1	1	0	2	8	有	1	3

(2) 公設民営保育園, 私立保育園および小規模保育園

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子どもの人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
公民01	0	0	0	1	1	1	3	5	有	1	1
私01	-	-	-	1	-	1	2	4	無		
私02	-	-	-	-	1	2	3	6	有	1	2
私03	0	0	0	0	0	0	0	-	有	12	1
私04	-	-	1	-	-	-	1	6	有	1	1
私05	-	-	-	-	-	-	0	-	-		
私06	0	0	0	1	0	1	2	25	有	1	2
私07	0	0	0	1	0	0	1	1	無		
私08	-	-	-	-	-	1	1	-	有	1	1
私09	0	0	0	1	0	0	1	5	有	1	1
私10	0	0	0	0	0	0	0	-	無		
私11	-	-	-	1	-	-	1	5	有	1	2
私12	0	0	0	0	0	1	1	6	有	12	1
私13	-	-	-	1	-	1	2	6	有	1	1
私14	-	-	1	3	-	1	5	15	有	4	1
私15	-	-	-	1	2	1	4	3	有	1	2
私16	0	0	0	6	0	2	8	8	有	12	1
私17	-	-	-	-	-	-	0	3	有	1	1~2

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子の人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
私 18	0	0	0	0	0	0	0	3	無		
私 19	-	-	-	1	-	-	1	3	無		
私 20	-	-	-	-	1	-	1	10	無		
私 21	-	1	-	-	2	-	3	3	無		
私 22	-	-	-	-	-	-	0	1	無		
私 23	0	0	0	0	0	0	0	2~3	無		
私 24	-	-	-	-	1	-	1	4	無		
私 25	-	-	-	2	-	-	2	3	無		
私 26	-	-	-	-	-	-	0	3	有	随時	
私 27	-	-	-	-	2	-	2	2	有	6	1
私 28	-	-	-	-	-	-	0	6	無		
私 29	0	0	0	1	0	0	1	4	有	1	4
小 01	-	-	1	-	-	-	1	0	無		

(3) 認証保育所

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子の人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
証 01	0	0	0	0			0	0	無		
証 02	-	-	-				0	2	無		
証 03	-	-	-	-	-	-	0	2	有	12	1

(4)幼稚園

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子の人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
幼01	/	/	/	0	0	0	0	2	無	/	/
幼02	/	/	/	0	1	1	2	1	-	/	/
幼03	/	/	/	0	0	0	0	10	無	/	/
幼04	/	/	/	0	0	0	0	0	無	/	/
幼05	/	/	/	1	1	0	2	9	有	1	3
幼06	/	/	/	-	1	-	1	6	有	6	1
幼07	/	/	/	-	-	2	2	30	無	/	/
幼08	/	/	/	0	0	0	0	15	無	/	/
幼09	/	/	/	-	1	-	1	5~6	無	/	/

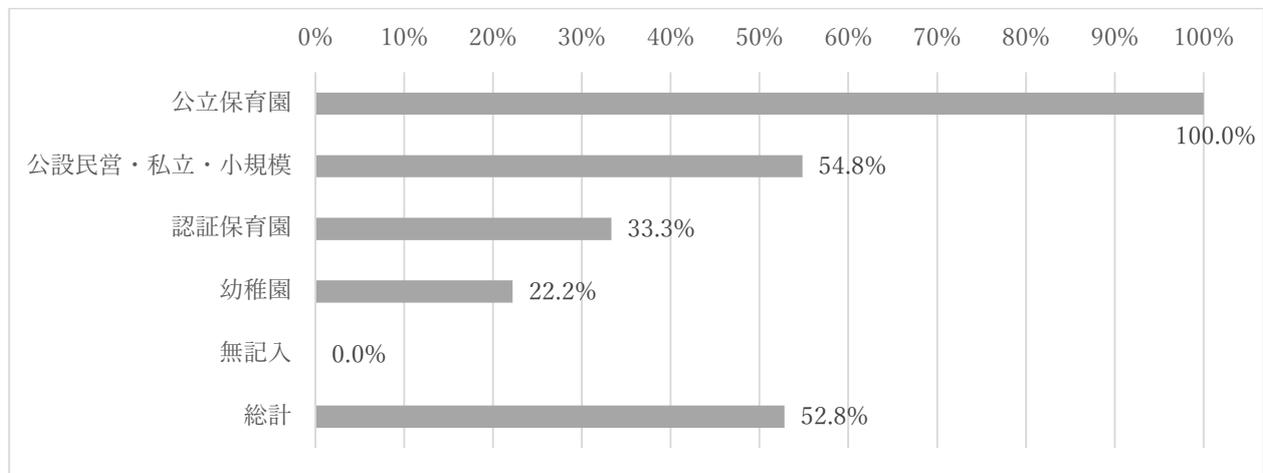
(5)園名記入なし

No.	加配児または障害児枠の子どもの数							加配児・障害児枠の子ども以外で、気になる子の人数	巡回利用の有無	頻度	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			(カ月に)	(回)
01	-	-	-	-	-	-	0	-	-	/	/
02	0	0	0	0	0	0	0	4	無	/	/

2 専門職^{*1}による巡回支援^{*2}やスーパーバイズ^{*3}の利用状況

(1) 巡回支援やスーパーバイズの利用率【設問1(4)】

区分	利用あり	利用なし	無回答	総計	利用率
公立保育園	8	0	0	8	100.0%
公設民営・私立・小規模保育園	17	13	1	31	54.8%
認証保育所	1	2	0	3	33.3%
幼稚園	2	6	1	9	22.2%
無記入	0	1	1	2	0.0%
総計	28	22	3	53	52.8%



(2) 巡回支援やスーパーバイズを利用していない理由（自由記入）【設問1(4)】 ※要約

- ・対象児がない。（3件）
- ・受け方がわからない。（3件）
- ・研修や電話での問い合わせ等で相談している。（2件）
- ・ボランティアやカウンセラーに相談している。（2件）
- ・保護者の同意を得られていない。（2件）
- ・条件の良い方が見つからない。（1件）
- ・理由わからず。（1件）
- ・予算的に難しい。（1件）

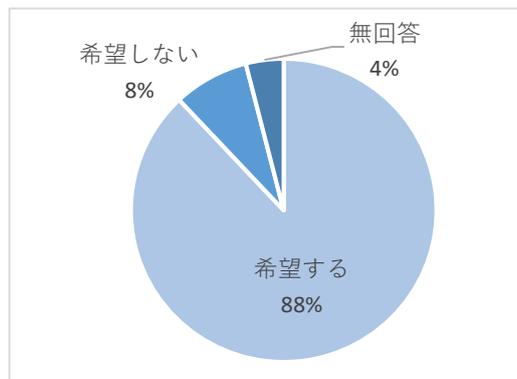
【注】

- * 1 専門職…言語聴覚士 (ST), 心理士, 作業療法士 (OT), 理学療法士 (PT), 保育士等。
- * 2 巡回支援…専門職が幼稚園や保育園等を訪問し, 子どもの対応やクラスの運営方法等について職員に対して助言等を行うもの。
- * 3 スーパーバイズ…施設利用者 (園児) と関わる職員に対して, 専門職や経験の長い職員が助言や指導等を行うこと。

3 発達センターの定期巡回支援（仮）について【※設問 1 (4)で巡回支援を受けていないと答えた園への質問】

(1) 発達センターの専門職が定期的に園を巡回・訪問することを希望しますか？【設問 2(1)】

希望する	22	88.0%
希望しない	2	8.0%
無回答	1	4.0%

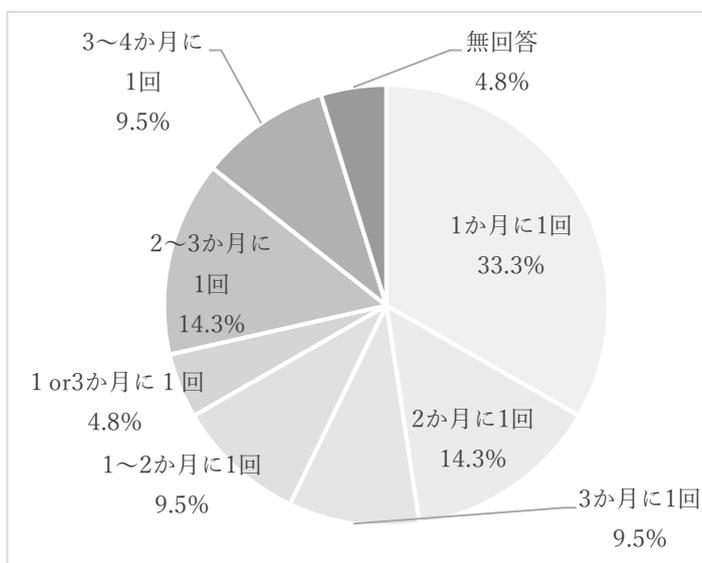


(2) (1)で希望しないと答えた理由（自由記入）【設問 2 (1)】 ※原文

- ・必要がない。
- ・現在、該当するようなお子さんがいないため。

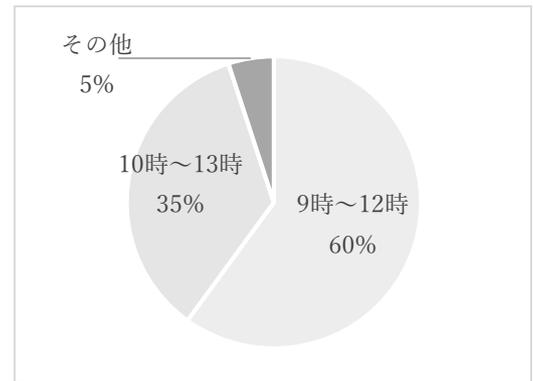
(3) 定期的に園に巡回する場合、頻度はどの程度が適当だと思えますか？【設問 2 (2)】

1か月に1回	7	33.3%
2か月に1回	3	14.3%
3か月に1回	2	9.5%
1～2か月に1回	2	9.5%
1or3か月に1回	1	4.8%
2～3か月に1回	3	14.3%
3～4か月に1回	2	9.5%
無回答	1	4.8%



(4) 園への巡回を，1回3時間とした場合，時間帯は何時頃がよいと思いますか？【設問2(3)】

9時～12時	24	60.0%
10時～13時	14	35.0%
11時～14時	0	0.0%
12時～15時	0	0.0%
その他※	2	5.0%

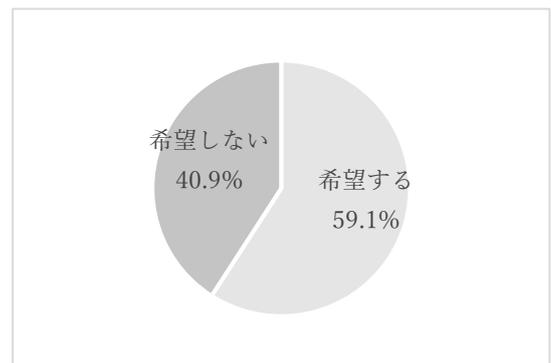


※「その他」意見

- ・ 9-12時保育に入って頂き，プラスα職員と相談時間があるとよい。
- ・ 9時半～12時半。

(5) 令和2年度より，定期巡回支援（仮）のモデル事業を開始することを検討しています。実施することになった場合，モデル園として定期巡回支援（仮）を受けることを希望しますか？

希望する	13	59.1%
希望しない	9	40.9%



4 発達センターの専門職が巡回する際に，どのような支援があるとよいと思いますか？（自由記入）【設問2(5)※全園を対象にした設問】※要約

- ・ 子どもへの働きかけ方や環境設定，遊具等について具体的なアドバイスがほしい。（26件）
- ・ 保護者への伝え方のアドバイス。保護者への勉強会等の実施。（11件）
- ・ OTやSTからの助言がほしい。（4件）
- ・ 毎回決まった担当に巡回に来てもらい，その都度担任と話し合う機会を設けてほしい。（4件）
- ・ 発達センターに通っている子どもだけでなく，気になる子への働きかけのアドバイスがほしい。支援が必要かどうかの相談にのってほしい。（3件）
- ・ クラス運営の仕方についてアドバイスがほしい。（2件）
- ・ どのように子どもの発達が遅れているか明確な資料がほしい。センターに通っていてどのような進みで保育しているかクラスの担任に関わり方を伝えてほしい。（1件）
- ・ 気になる行動をとった時の周囲の子ども達への対応のしかたも教えてほしい。（1件）
- ・ 個別指導計画作成のヒントになるようなアドバイスがほしい。（1件）

- ・ 小学校につながる支援（1件）

5 発達センターの研修について

(1) 現在、発達センターでは、療育見学会、子ども施設向け研修、市民講演会を実施しています。他に、あればよいと思う研修や、希望する研修内容等がありますか？（自由記入）【設問3(1)】※要約

- ・ 気になる子への支援方法。（2件）
- ・ 多動児への対応方法。（2件）
- ・ 様々なタイプの子どもがクラスにいる場合の適切な対応。（2件）
- ・ 実際の療育の様子をみて、その療育から学びたい。（2件）
- ・ 遊びの中でわかる発達の様子。
- ・ 専門家から見た遊具の設置や紹介。
- ・ 軽度の発達障害に対する改善策と改善内容。
- ・ 母子（愛着障害）関係。
- ・ 保育園の母集団とお手伝いが必要な児との関わり方。
- ・ 保護者との対応の仕方の研修。
- ・ 園で抱えている悩み等を伺うことができるような研修。
- ・ 加配の先生に向けての知識や援助方法を深める研修。
- ・ 一人の子どもに対してどのような療育が行われ、どのような場面に注目し、成長や課題についてカリキュラム変更がなされるのか等。
- ・ 特別に支援が必要な子どもの記録の取り方。
- ・ 気になるお子さんの発達センターや病院受診を勧めたいときに、保護者へどのように伝えればいいのか、また保護者がどのように受け止めていくのかという内容の研修があるとよい。
- ・ 運動発達の遅れている児への支援研修。低出生体重児への運動・言語支援研修。
- ・ 食事指導、排泄指導など。
- ・ 園内研修として訪問してほしい。
- ・ 藤原先生のケーススタディ（調布市医師会主催）は保育士同士で工夫や悩みを話し合ったり、専門の先生たちからの具体的支援の方法を教えていただき、保育の知識も幅も広がる。
- ・ 療育見学会を増やしてほしい。（抽選で外れてしまう）
- ・ 施設向け研修の回数を増やしてほしい。
- ・ 実践につながる研修を年に数回開催してほしい。
- ・ 参加したい研修をしてくださっていますが、日頃の保育に忙しくなかなか参加できていません。
- ・ 現在の研修でよいです。

(2) より多くの職員が研修に出やすい時期や、時間帯があれば教えてください。【設問 3(2)】

ア 時期

4月	3	1.7%
5月	10	5.7%
6月	30	17.0%
7月	20	11.4%
8月	18	10.2%
9月	14	8.0%
10月	15	8.5%

11月	19	10.8%
12月	13	7.4%
1月	15	8.5%
2月	10	5.7%
3月	4	2.3%
いつでも	4	2.3%
常に追われている	1	0.6%

イ 時間帯

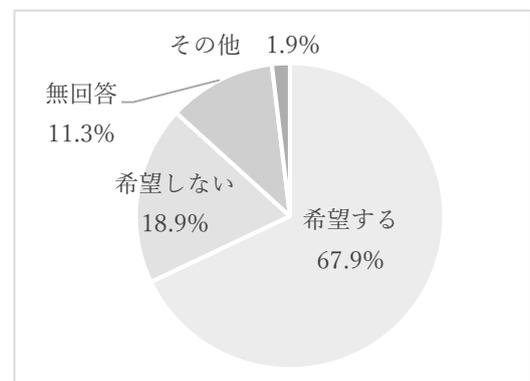
13時以降	6
13-15時	4
13-16時	1
13:30-	1
13:30-16時	1
13:30-17:30	1
14時以降	2
14-16時	4
14-17時	3
14:30-	1

15時以降	7
16時以降	2
17時以降	1
18時以降	1
午後	9
午後の早い間	1
午後または夜	1
夕方	2
いつでも	1
無回答	4

(3) 加配児や障害児枠の児を担当している職員に、発達センターに来ていただき、職員が個別の療育方法を学び、スキルアップを図る研修について検討しています。

ア このような研修を利用したいと思いますか？【設問 3(3)-1】

はい	36	67.9%
いいえ	10	18.9%
無回答	6	11.3%
その他	1	1.9%



イ アの回答の理由を教えてください。【設問3(3)-2】

(ア) アで「はい」と答えた園 ※要約

- ・ 職員のスキルアップにつながるため。(12件)
- ・ 実際の療育状況を見ることで支援が共有できる。(7件)
- ・ どのような療育を受けているのか実際に見て参考にしたい。(7件)
- ・ 対象の園児によりよい環境を整えることができるため。(4件)
- ・ 加配としての動きや関わり方により良いアドバイスがほしい。(3件)
- ・ 集団に入っているならば一緒に受けてみたい。(1件)
- ・ 保育園の担当者が療育ができるのであれば軽度の発達障害児は保育園が療育の場になり、発達センターの受け入れ人数も増やせると思うため。(1件)
- ・ 担任も入れるとよい。加配として配属していても、知識不足や情報共有の時間が持てないことが多く、適切な関わりができないから。(1件)

(イ) アで「いいえ」、無回答またはその他の園 ※要約

- ・ 保育園の現場で指導を受けたい。(4件)
- ・ 今までの情報交換のみで十分。(1件)
- ・ インクルーシブ保育の中で育てていきたいので。(1件)
- ・ いろんな職員が対応しているため。(1件)
- ・ 保護者とは別がよい。(1件)
- ・ 発達センターでの療育の仕方を園の集団の中でできる自信がない。(1件)
- ・ 人間的に参加が難しいため。(1件)

6 発達センターへの要望【設問4】 ※要約

- ・ 巡回指導を希望する。(4件)
- ・ クラスの様子を見てもらい運営の方法のアドバイスがほしい。(2件)
- ・ 施設訪問事業を利用する際、保護者の承諾なしでもできるようになればよい。(2件)
- ・ 気に入った方がよい言動、行動等、チェックポイントをわかりやすくしたものがあれば教えてほしい。そのような研修をしてほしい。(2件)
- ・ センターと連携をとっていきたい。(2件)
- ・ 年に1回以上訪問を希望する。(1件)
- ・ 地域の担当が決まっていると相談しやすい。(1件)
- ・ 発達支援が必要な子どもが増えている中、一人の子に対し手厚すぎ(時間をかけすぎ)ではないか。より多くの支援が必要な子を支援してほしい。(1件)
- ・ 発達センターから保育園への入園に至るまでに3者で話す機会を持ったり、申し送りの用紙だけでないアクションがあるとよい。(1件)
- ・ センターでの療育を受けた翌日、保護者からは「楽しんでいた」との報告が多く、具体的な情報が入ってこない。(1件)